

# 在鸣门 第109期

## 中日两国赏花的特点

### 中国と日本のお花見事情

樱花转瞬即逝，赏花季随之结束。但是，樱花之后，山茶花、杜鹃花、郁金香等各种花卉次第盛开，争奇斗艳。赏花不仅仅限于樱花，其实应该说现在开始才真正进入了繁花似锦的季节。

桜があつという間に終わってしまい、お花見シーズンは過ぎましたが、桜に次いで、山茶花、ツツジ、チューリップ等色々な花が咲き誇り、美しさを競っています。花見は桜に限りません。むしろこれからこそ本格的な「花見シーズン」と言った方が良いでしょう。

樱花堪称日本的国花，赏樱是全民性的一大盛事。那么，中国有没有国花呢？有的话是什么呢？

桜は日本の国花とも言える代表的な花であり、桜のお花見は国民的な大イベントであります。ところで、中国に国花があるのか、あるとしたら何なのかご存知でしょうか。

- ・十大名花点缀华夏大地
- ・十大名花が彩る世界一の花卉大国

中国花卉众多，据说超过 1 万种。国际园艺生产者协会的调查表明，中国花卉栽培面积居世界之首。中国有名的花卉有“中国十大名花”，包括：梅花、牡丹、菊花、兰花、杜鹃花、山茶花、荷花、桂花、水仙和月季。其中，牡丹和梅花历史悠久，深受民众喜爱，是最具代表性的花卉。

中国でも数多くの花が見られ、その数は1万種を超えるといわれます。国際園芸生産者協会の調査によると、中国の花卉栽培面積は世界で一位に達したとのことでした。中国の有名な花は、「中国十大名花」と呼ばれ、梅、牡丹、菊、ラン、ツツジ、サザンカ、ハス、キンモクセイ、スイセン、コウシンバラを指します。このうち、梅と牡丹の二つが歴史も古く、多くの人に好かれ、代表的な花だと言われています。

中国和日本一样，花卉文化影响深远。花不仅是用来欣赏的，还可做成茶，或用花的图案来拼字。中国人常饮的花茶有茉莉花茶、玫瑰茶、菊花茶、桂花茶等等。

中国も、日本と同様に「花」という文化が昔から浸透しています。「花」については、見て楽しむのはもちろんのことであり、飲む「花茶」、書く「花文字」などとても豊富であります。中国でよく飲む「花茶」としては、ジャスミン茶、バラ茶、菊茶、キンモクセイ茶等多くあります。

- ・国花未有定案，梅花牡丹相峙不下
- ・国花が決まらない、梅と牡丹の争い

在中国，很难像日本那样全国人民一起欣赏某一种花。日本各地樱花数量庞大，开花时期虽稍有不同，但全国各地的人们基本可以在春天一同欣赏樱花的美。然后，中国幅员辽阔，气候大相径庭，同一种花在不同地区很难在同一时间段内开放，而是不同地区开不同的花。例如，河南的牡丹、江西的油菜花、贵州的杜鹃花、江苏和广西的桂花、武汉和北京的樱花、新疆的薰衣草等各自芬芳，吸引着八方来客。

中国では、日本の「桜のお花見」のように、全国で一斉に花を見るのは難しいです。日本は膨大な数の桜が全国各地に植えられており、開花時期に多少のズレがあるものの、春に全国民が一斉に桜のお花見を楽しめます。一方、中国は国土が広く、気候も大きく違うため、同じ花が全国各地で、近い期間に一斉

に咲くことは少ないです。各地域に違う花が咲きます。例えば、河南省の牡丹、江西省の油菜、貴州のツツジ、江蘇省や広西省のキンモクセイ、武漢や北京の桜、新疆のラベンダーなどが非常に有名で、毎年多くの観光客を魅了しています。

日本虽无明确的法律规定，但国内外都认为樱花就是日本国花。但是在中国，对于国花的争论已经延续了 20 多年，没有定论。其原因在于支持“梅花”和支持“牡丹”这两派的激烈争论。2005 年的调查显示，支持牡丹的市民占 41.42%，支持梅花的市民占 36.39%，结果非常接近。此外，认为“应该明确 1 个国花”、“可以有 2 个”和“应该按季节定 4 种国花（牡丹、荷花、菊花、梅花）”的各种意见都有，呈现出百家争鸣的态势。

日本では、法律で明文化されている訳ではないですが、「桜＝国花」という認識は国内外で広く共有されています。しかし中国では、国花の制定についてすでに 20 年以上も議論されているのに、なかなか決まりません。その原因は「梅」支持と「牡丹」支持という両陣営の激しい論争にあります。2005 年に行われた市民へのネット調査では、一番相応しい花として、牡丹は 41.42%を、梅は 36.39%を占めており、両者の差はごくわずかでした。また、国花は「1 つだけ」、「2 つでも良い」、「いや四季ごとに（牡丹、蓮、菊、梅）決めるべき」など、議論は百家争鳴の様相です。

赏花的最好季节来到了。在日本或在中国赏花，甚至两个国家都去，应该是一件很美好的事情吧。住在鸣门的各位中国朋友，您去赏花了吗？鸣门市的各位市民，也欢迎您到中国去赏花！

「花見」のベストシーズンが到来しています。日本、中国、或いはその両方で「花見」に行くと最高かもしれませんね。鳴門在住の中国人の皆さんはお花見を楽しんでいますか。鳴門市民の皆さんにも中国へ花を見に行っていただけると嬉しいです。

(画像は中新網から 图片来自中新网)



部门：鸣门市观光振兴课  
地址：鳴門市撫養町南浜字東浜 170  
（〒772-8501）  
TEL：088-684-1746 / FAX：088-684-1339  
E-mail：[kokusai@city.naruto.lg.jp](mailto:kokusai@city.naruto.lg.jp)  
编辑：蔡文娟